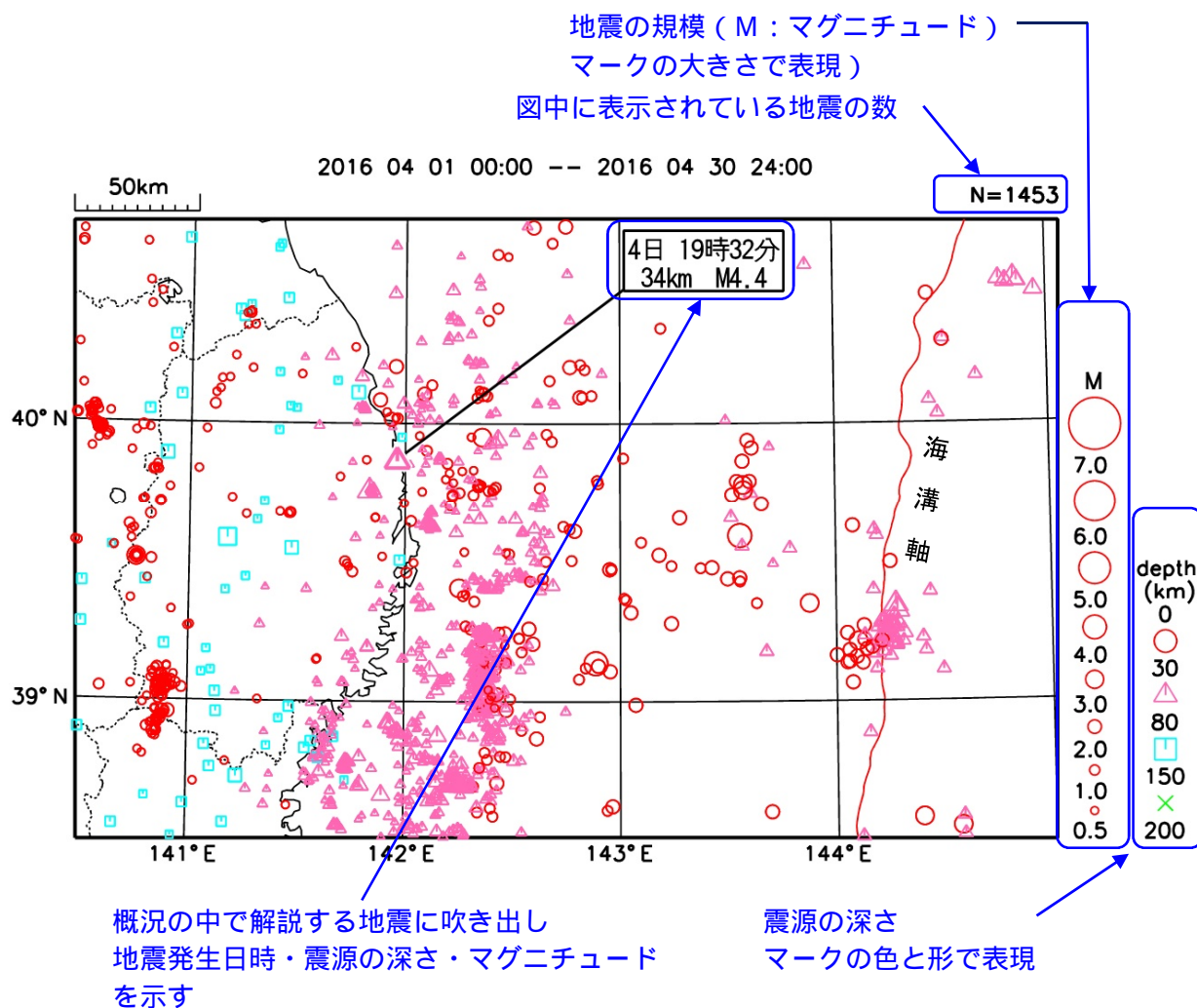


「岩手県月間地震概況」利用の手引き

「岩手県月間地震概況」は、1ヶ月間の地震活動を取りまとめたもので、毎月月初めに発行します。内容は、地震活動の「震央分布図」・「概況」・「断面図」・「震度1以上を観測した地震の表」のほか、地震や津波、火山に関する知識や気象庁の地震火山業務等について解説や紹介、話題を取り上げた「防災メモ」をあわせて掲載します。また、盛岡地方気象台ホームページでも閲覧できます。

1 震央分布図

震央とは、震源（地下の岩盤破壊が最初に始まった場所）の真上にあたる場所のことで、震央の位置を地図上にマークで表したものが震央分布図です。マークの大きさによって「地震の規模：M（マグニチュード）」を、色と形によって「深さ」を表現しています。太平洋沖の「海溝軸」と記載されている曲線は、日本海溝を表しています。この図から、地震の活動状況などを見ることができます。

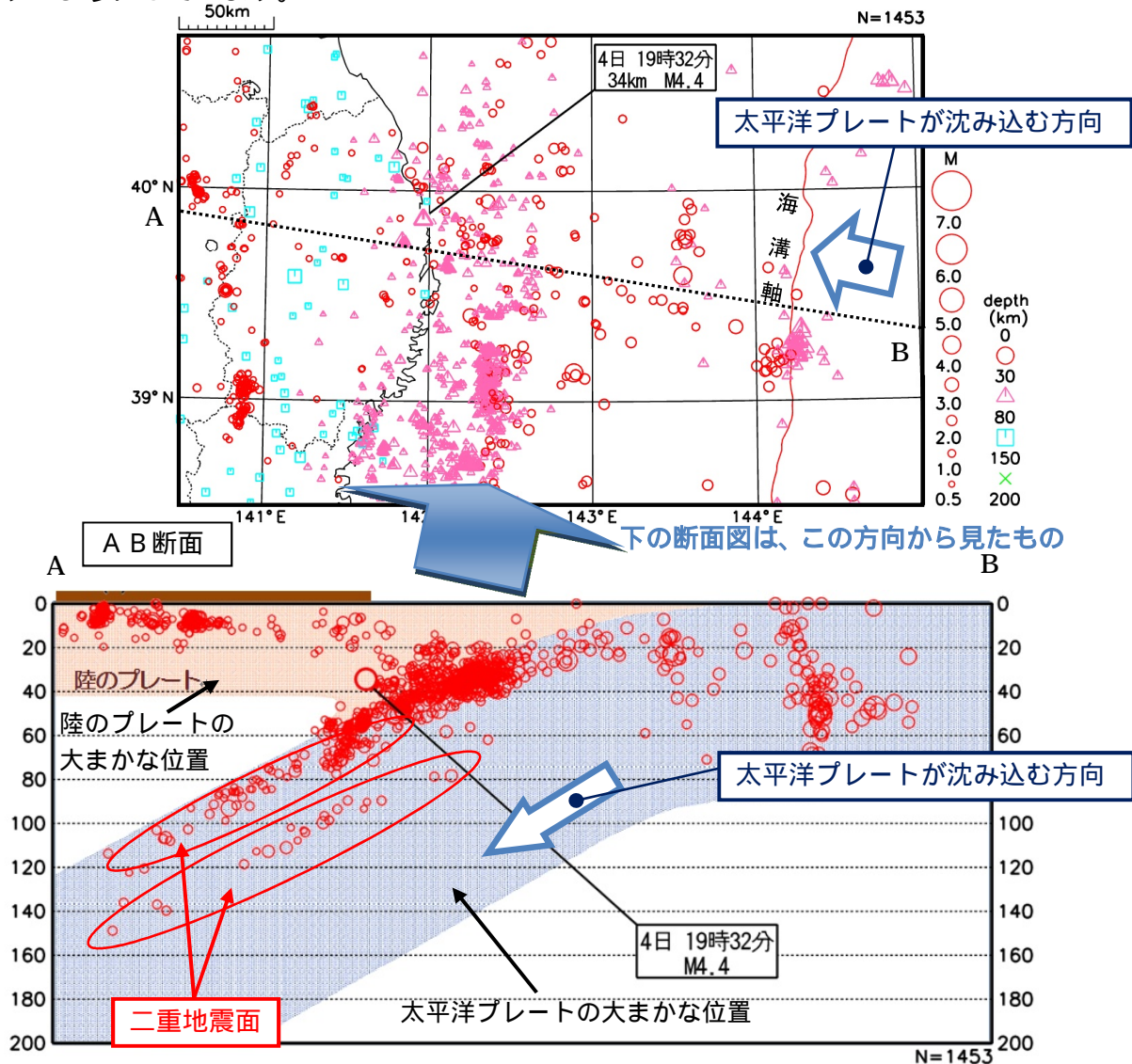


2 概況

その月に注目した地震等についての概略(地震発生日時、震源、マグニチュード、震度分布、過去の活動など)を記載しています。

3 断面図

震央分布図の領域内においてA点とB点を結ぶ線を断面として震源を投影し、地震の発生した深さの分布を表示したものが断面図です。投影面を単純に東西方向ではなく斜めにしているのは、太平洋プレートが陸のプレートの下に沈み込んでいく方向に沿うように設定しているためです。こうすることにより、太平洋プレートの沈み込みに沿って地震が発生している様子や、沈み込んでいく過程で震源が2列になっている様子(二重地震面と呼んでいます)が明瞭に表示されます。また、震央分布図と断面図を一対一で表示することで、地震発生状況を把握しやすいようにしています。



4 岩手県で震度1以上を観測した地震の表

岩手県内の震度観測点 80 地点 (気象庁 20、自治体 39、防災科学技術研究所 21) で、震度 1 以上を観測した地震の一覧表です。地震の発生時刻、震央地名、緯度・経度、深さ、地震の規模および観測した震度と観測地点名を掲載します。

5 防災メモ

地震や津波、火山に関する知識や気象庁の地震火山業務等について解説や紹介をしています。